

# 感染状況・医療提供体制の分析（11月18日時点）

【11月19日モニタリング会議】

資料 1

| 区分     | モニタリング項目<br>※①～⑤は7日間移動平均で算出 |                                        | 前回の数値<br>(11月11日公表時点) | 現在の数値<br>(11月18日公表時点) | 前回との比較                                                                                | (参考)<br>緊急事態宣言下での最大値 | 項目ごとの分析※4                                                                                                                      |                 |
|--------|-----------------------------|----------------------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 感染状況   | ①新規陽性者数※5<br>(うち65歳以上)      |                                        | 244.3人<br>(33.9人)     | 325.7人<br>(43.3人)     |    | 167.0人<br>(4/14)     | 総括コメント                                                                                                                         | 感染が拡大していると思われる  |
|        | 潜在・市中感染                     | ②#7119（東京消防庁救急相談センター）※1における発熱等相談件数     | 56.1件                 | 57.9件                 |    | 114.7件<br>(4/8)      | 新規陽性者数と接触歴等不明者数は大幅に増加しており、急速な感染拡大の局面を迎えた。<br>特に、重症化リスクの高い高齢者の新規陽性者数が増加しており、高齢者への感染の機会を、あらゆる場面で減らすことが必要である。<br><br>個別のコメントは別紙参照 |                 |
|        |                             | ③新規陽性者における接触歴等不明者※5                    | 137.4人                | 182.7人                |    | 116.9人<br>(4/14)     |                                                                                                                                |                 |
|        |                             | 数<br>増加比※2                             | 151.5%                | 133.0%                |    | 281.7%<br>(4/9)      |                                                                                                                                |                 |
|        | 検査体制                        | ④検査の陽性率（PCR・抗原）（検査人数）                  | 5.0%<br>(4,556.6人)    | 5.8%<br>(5,368.7人)    |    | 31.7%<br>(4/11)      | 総括コメント                                                                                                                         | 体制強化が必要であると思われる |
| 医療提供体制 | 受入体制                        | ⑤救急医療の東京ルール※3の適用件数                     | 42.0件                 | 47.3件                 |    | 100.0件<br>(5/5)      | 入院が必要な患者の急増に対応できる病床の確保が急務である。<br>重症患者数の増加が続けば、予定手術等の制限をせざるを得なくなり、通常医療の維持と重症患者のための病床の確保との両立が困難になる。<br><br>個別のコメントは別紙参照          |                 |
|        |                             | ⑥入院患者数<br>(準備病床数)                      | 1,076人<br>(2,640床)    | 1,354人<br>(2,640床)    |  | 1,413人<br>(5/12)     |                                                                                                                                |                 |
|        |                             | ⑦重症患者数<br>人工呼吸器管理（ECMO含む）が必要な患者（準備病床数） | 38人<br>(150床)         | 39人<br>(150床)         |  | 105人<br>(4/28,29)    |                                                                                                                                |                 |

※1「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※2 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価

※3「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

※4 分析にあたっては、上記項目以外にも新規陽性者の年齢別発生状況などの患者動向や病床別入院患者数等も参照

※5 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。

# 総括コメントについて

## 1 感染状況

### <判定の要素>

- いくつかのモニタリング項目を組み合わせ、地域別の状況等も踏まえ総合的に分析

### <総括コメント（４段階）>

-  感染が拡大していると思われる
-  感染が拡大しつつあると思われる／感染の再拡大に警戒が必要であると思われる
-  感染拡大の兆候があると思われる／感染の再拡大に注意が必要であると思われる
-  感染者数の増加が一定程度にとどまっていると思われる

## 2 医療提供体制

### <判定の要素>

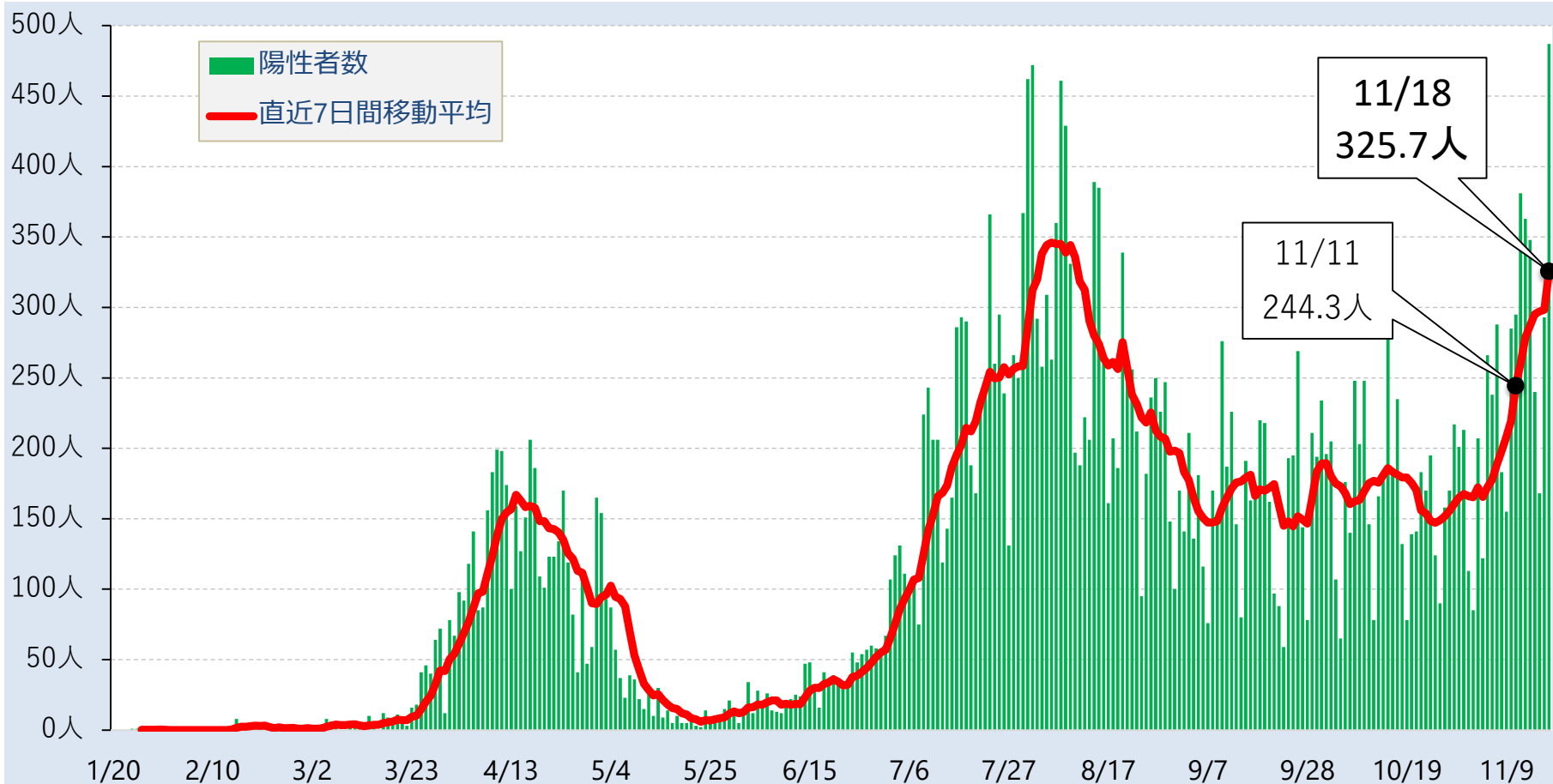
- モニタリング項目である入院患者や重症患者等の全数に加え、その内訳・内容も踏まえ分析  
例）重篤化しやすい高齢者の入院患者数
- その他、モニタリング項目以外の病床の状況等も踏まえ、医療提供体制を総合的に分析

### <総括コメント（４段階）>

-  体制が逼迫していると思われる
-  体制強化が必要であると思われる
-  体制強化の準備が必要であると思われる／体制強化の状態を維持する必要があると思われる
-  通常の体制で対応可能であると思われる

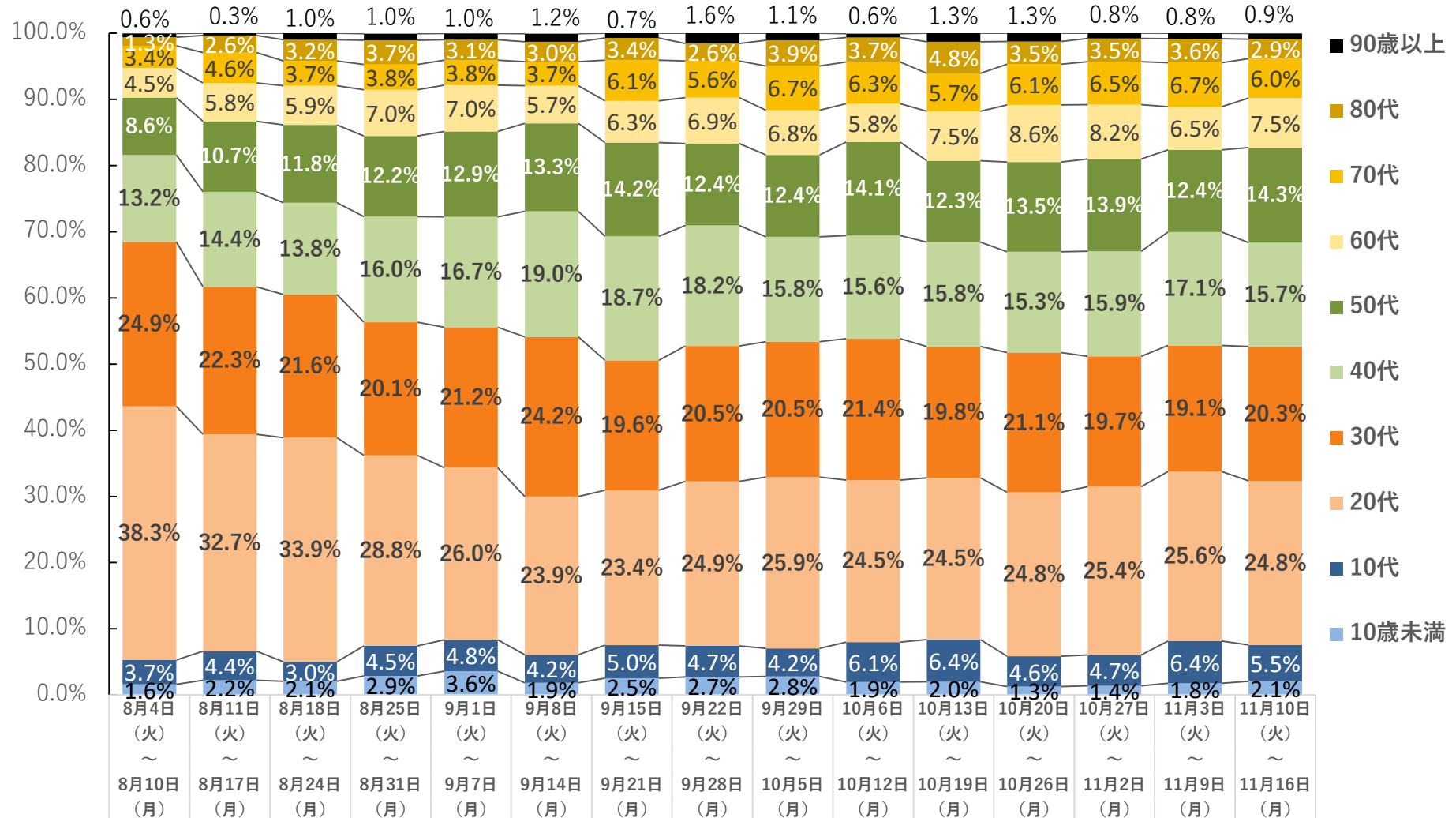
## 【感染状況】 ①-1 新規陽性者数

- 新規陽性者数の7日間平均は高い水準のまま連続して大幅に増加している。
- 急速な感染拡大の局面を迎えたと捉え、今後の深刻な状況を嚴重に警戒する必要がある。

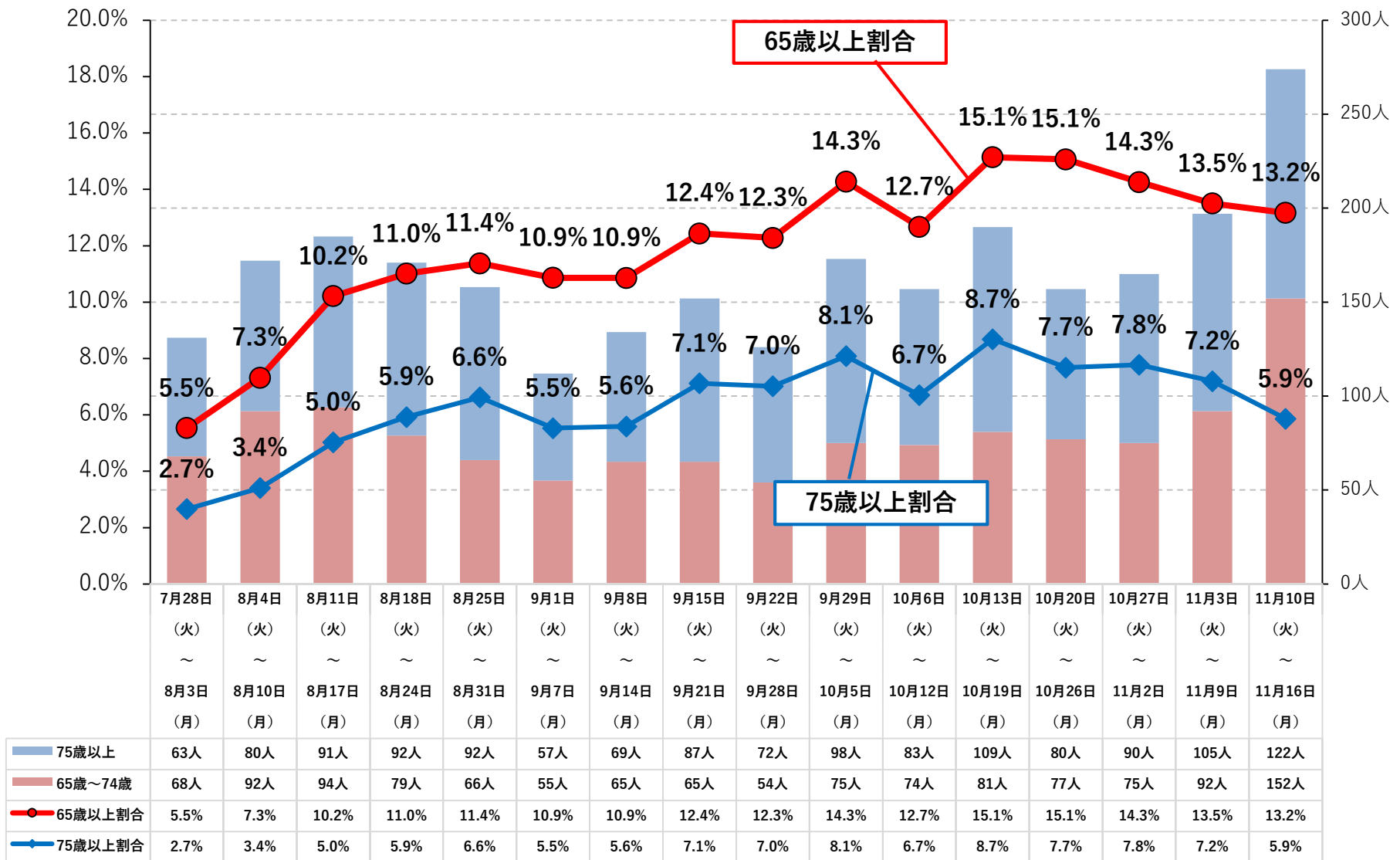


(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を陽性者数として算出

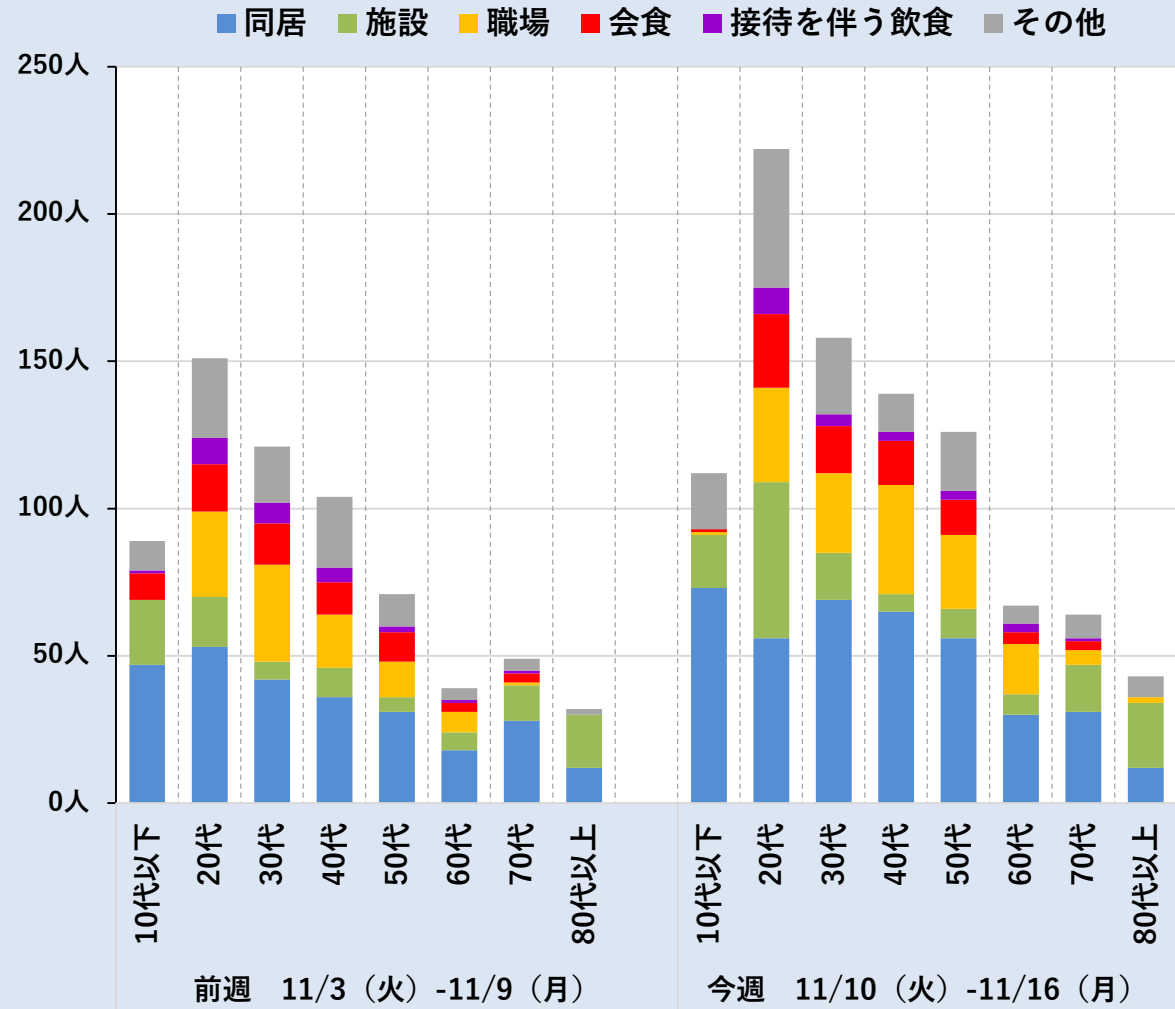
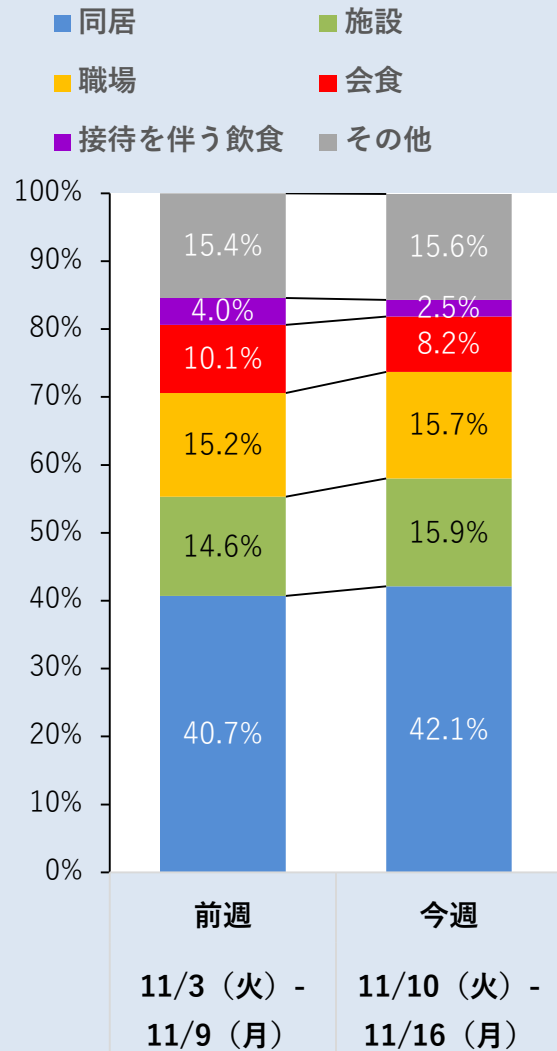
## 【感染状況】 ①-2 新規陽性者数（年代別）



## 【感染状況】 ①-3 新規陽性者数（65歳以上）

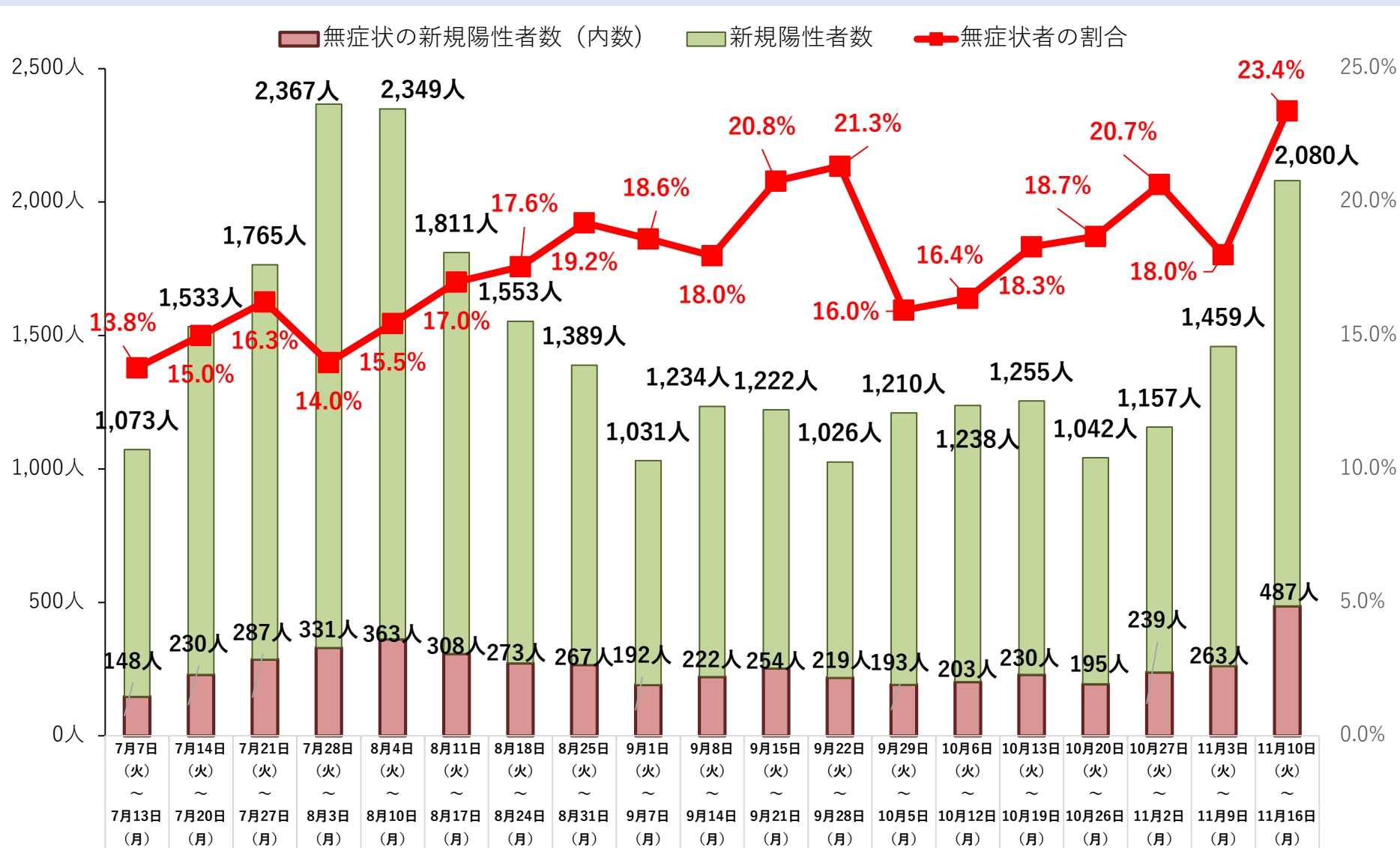


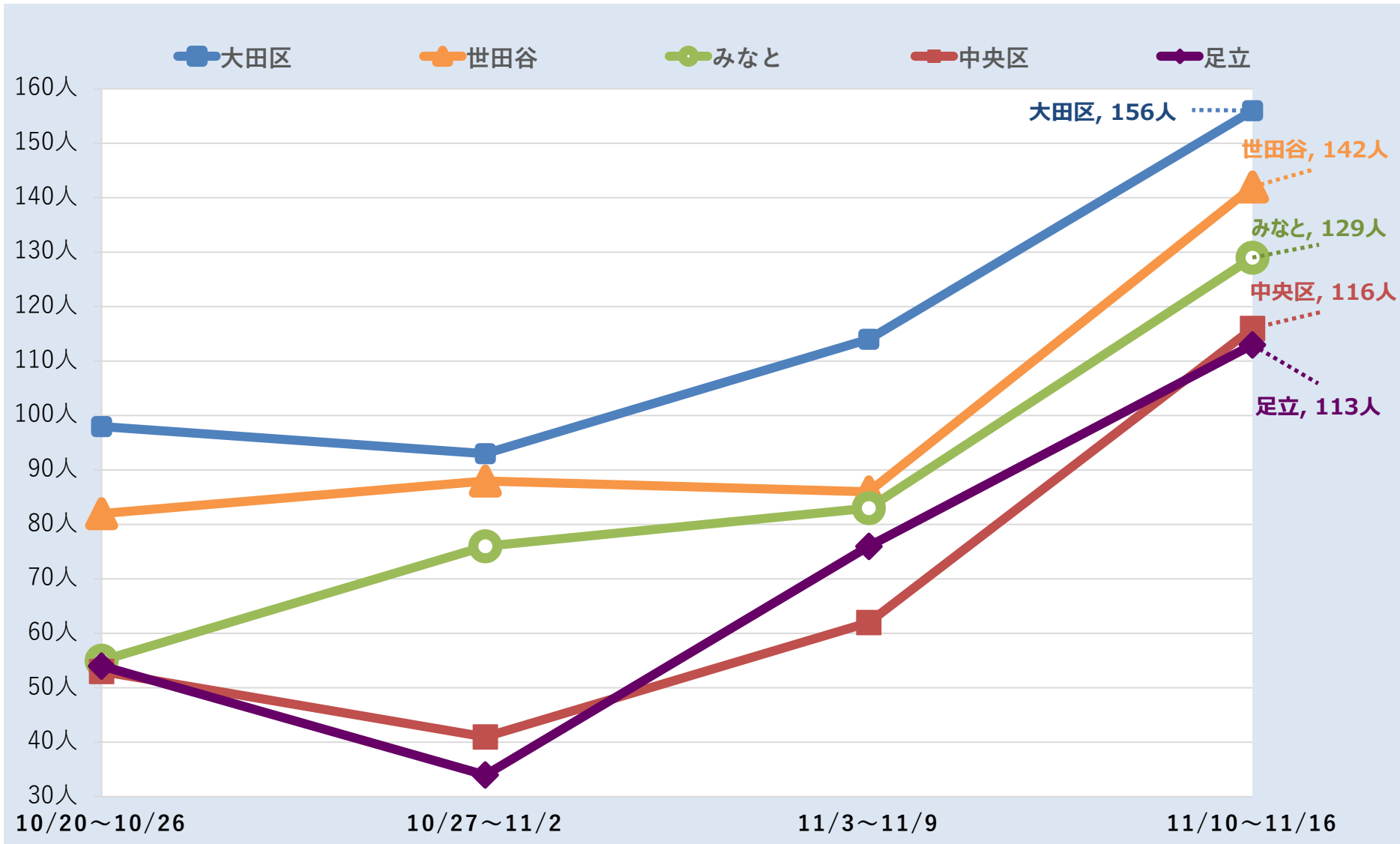
# 【感染状況】 ①-4 新規陽性者数（濃厚接触者における感染経路）



(注) 「施設」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、医療機関、保育園、学校等の教育施設等

## 【感染状況】 ①-5 新規陽性者数（無症状者）



**【感染状況】①-6 新規陽性者数（届出保健所別、今週の最多5地区、4週間推移）**



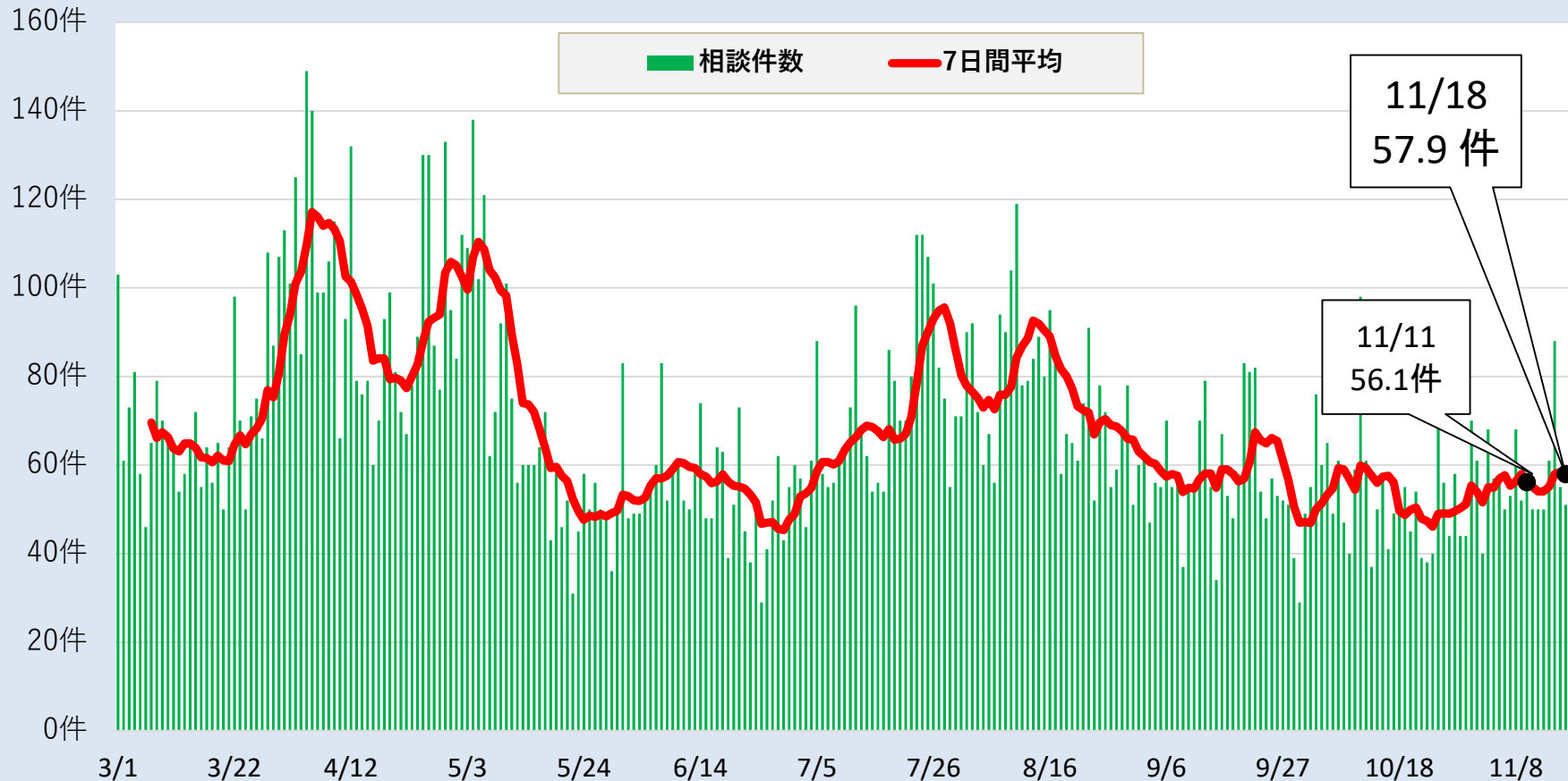
# 【感染状況】①-7 新規陽性者数（届出保健所別、11/10～11/16）



上記は、各保健所管内の医療機関等で陽性が判明した数であり、当該地域の住民とは限らない。

## 【感染状況】② #7119における発熱等相談件数

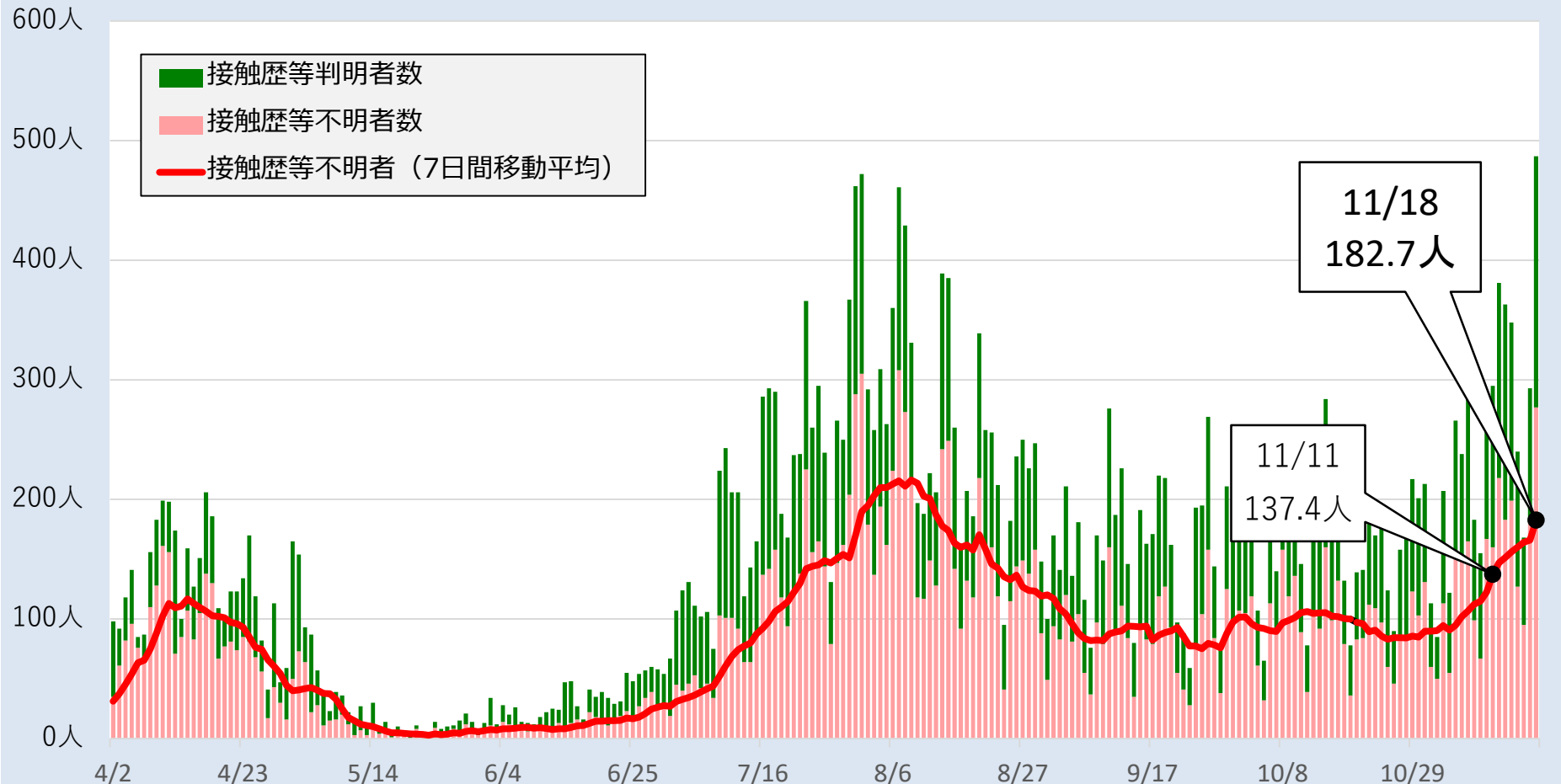
- #7119は、感染拡大の早期予兆の指標の1つとして、モニタリングしている。
- #7119の7日間平均は、横ばいであった。



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

## 【感染状況】③-1 新規陽性者における接触歴等不明者数・増加比

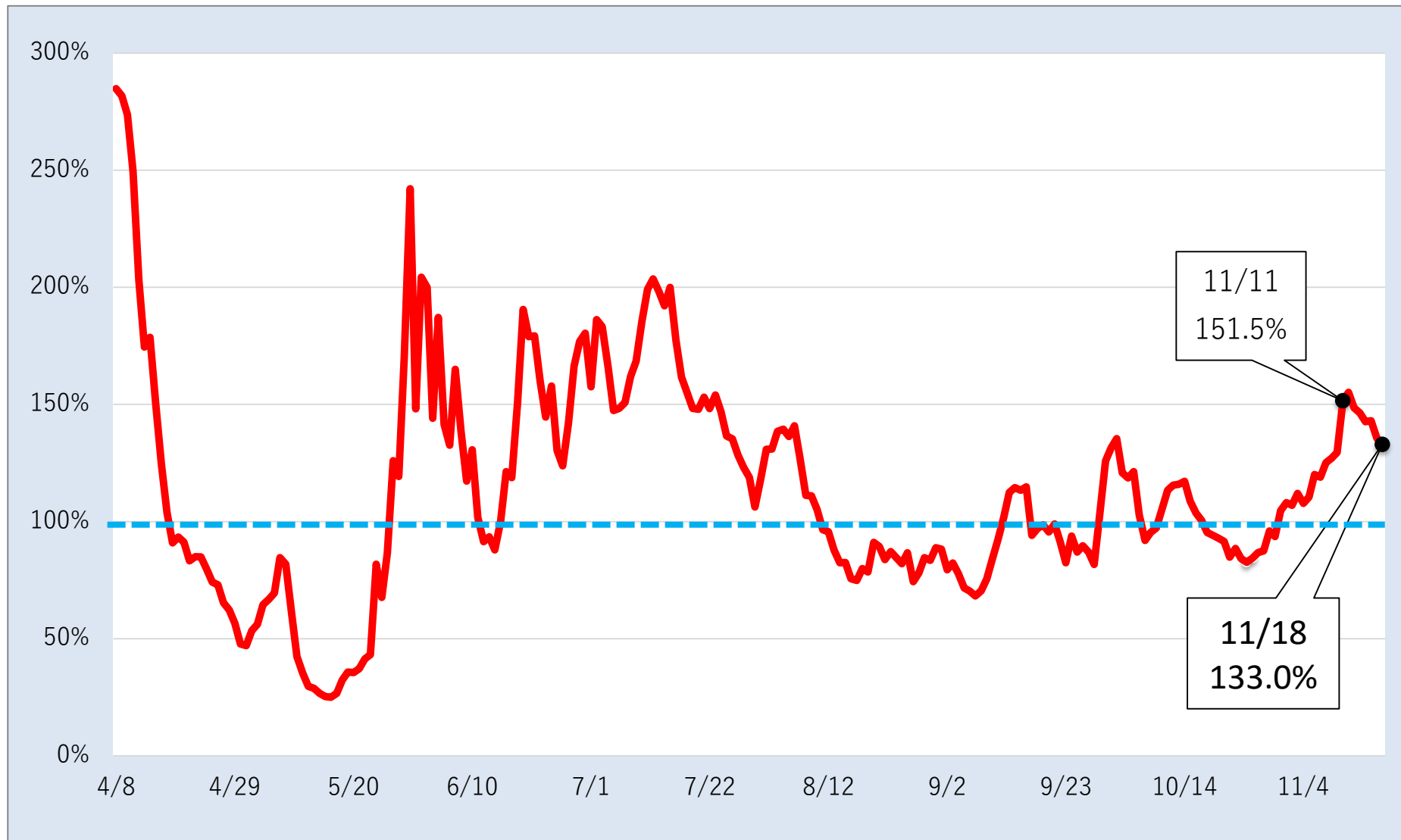
- 接触歴等不明者数の7日間平均は高い水準のまま大幅に増加し、増加比は連続して100%を超えている。
- 急速な感染拡大の局面を迎えたと捉え、今後の深刻な状況を厳重に警戒する必要がある。



(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を不明率として算出

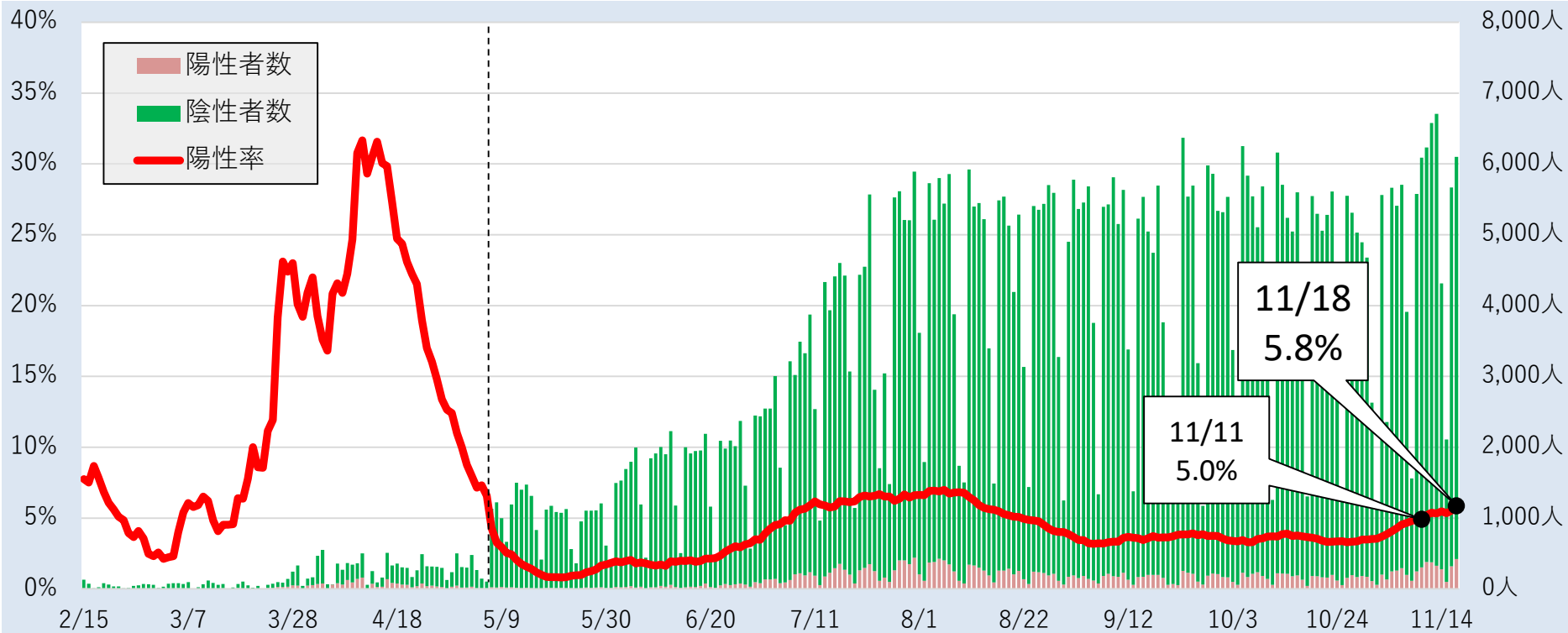
(注) 濃厚接触者など、患者の発生状況の内訳の公表を開始した3月27日から作成

## 【感染状況】 ③-2 新規陽性者における接触歴等不明者（増加比）



## 【医療提供体制】④ 検査の陽性率（PCR・抗原）

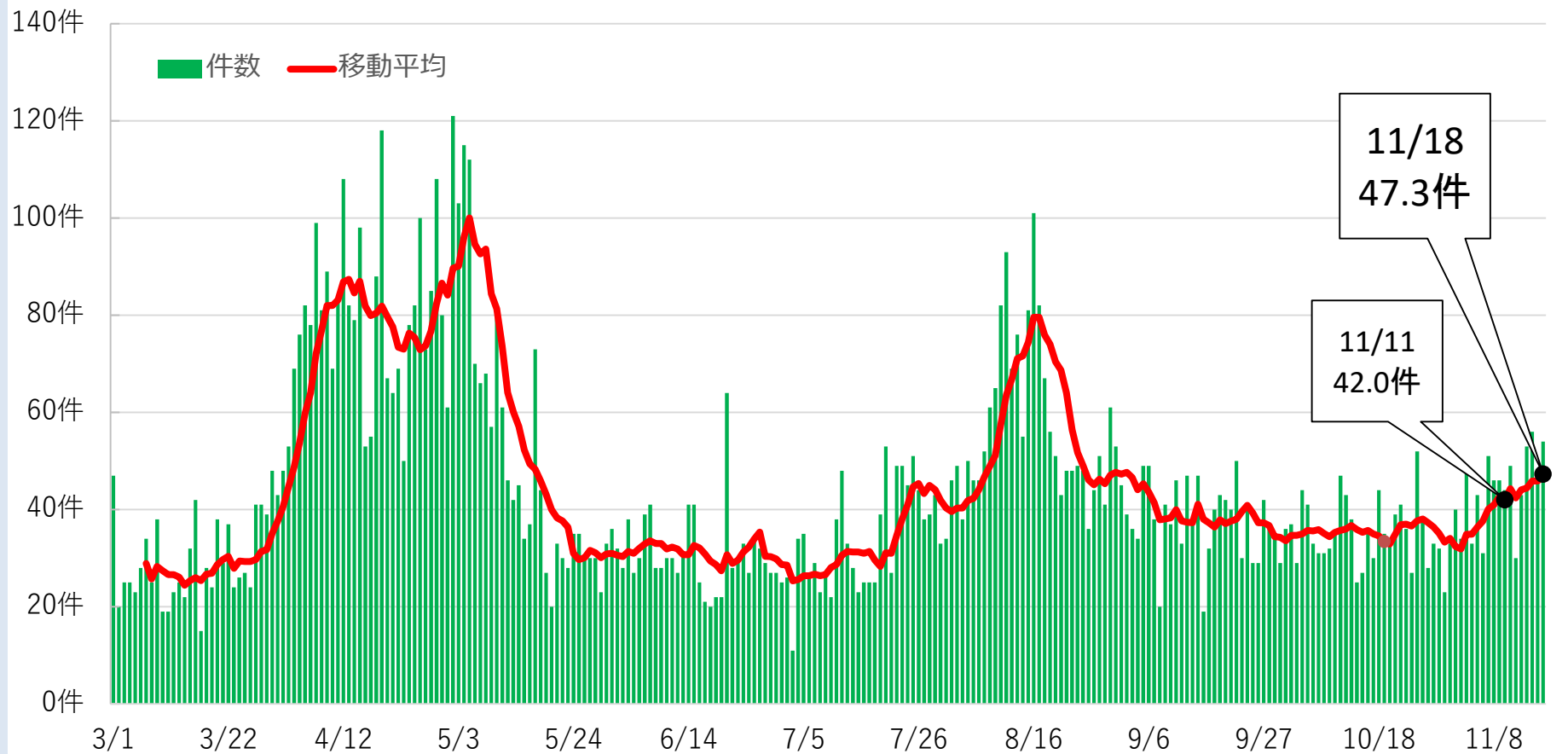
➤ 新規陽性者の増加に伴い陽性率は上昇しており、その推移に警戒する必要がある。



- (注1) 陽性率：陽性判明数（PCR・抗原）の移動平均／検査人数（＝陽性判明数（PCR・抗原）＋陰性判明数（PCR・抗原））の移動平均  
 (注2) 集団感染発生や曜日による数値のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値をもとに算出し、折れ線グラフで示す（例えば、5月7日の陽性率は、5月1日から5月7日までの実績平均を用いて算出）  
 (注3) 検査結果の判明日を基準とする  
 (注4) 5月7日以降は(1)東京都健康安全研究センター、(2)PCRセンター（地域外来・検査センター）、(3)医療機関での保険適用検査実績により算出。4月10日～5月6日は(3)が含まれず(1)(2)のみ、4月9日以前は(2)(3)が含まれず(1)のみのデータ  
 (注5) 5月13日から6月16日までに行われた抗原検査については、結果が陰性の場合、PCR検査での確定検査が必要であったため、検査件数の二重計上を避けるため、陽性判明数のみ計上。6月17日以降に行われた抗原検査については、陽性判明数、陰性判明数の両方を計上  
 (注6) 陰性確認のために行った検査の実施人数は含まない  
 (注7) 陽性者が1月24日、25日、30日、2月13日にそれぞれ1名、2月14日に2名発生しているが、有意な数値がとれる2月15日から作成  
 (注8) 速報値として公表するものであり、後日確定データとして修正される場合がある

## 【医療提供体制】⑤ 救急医療の東京ルール件数

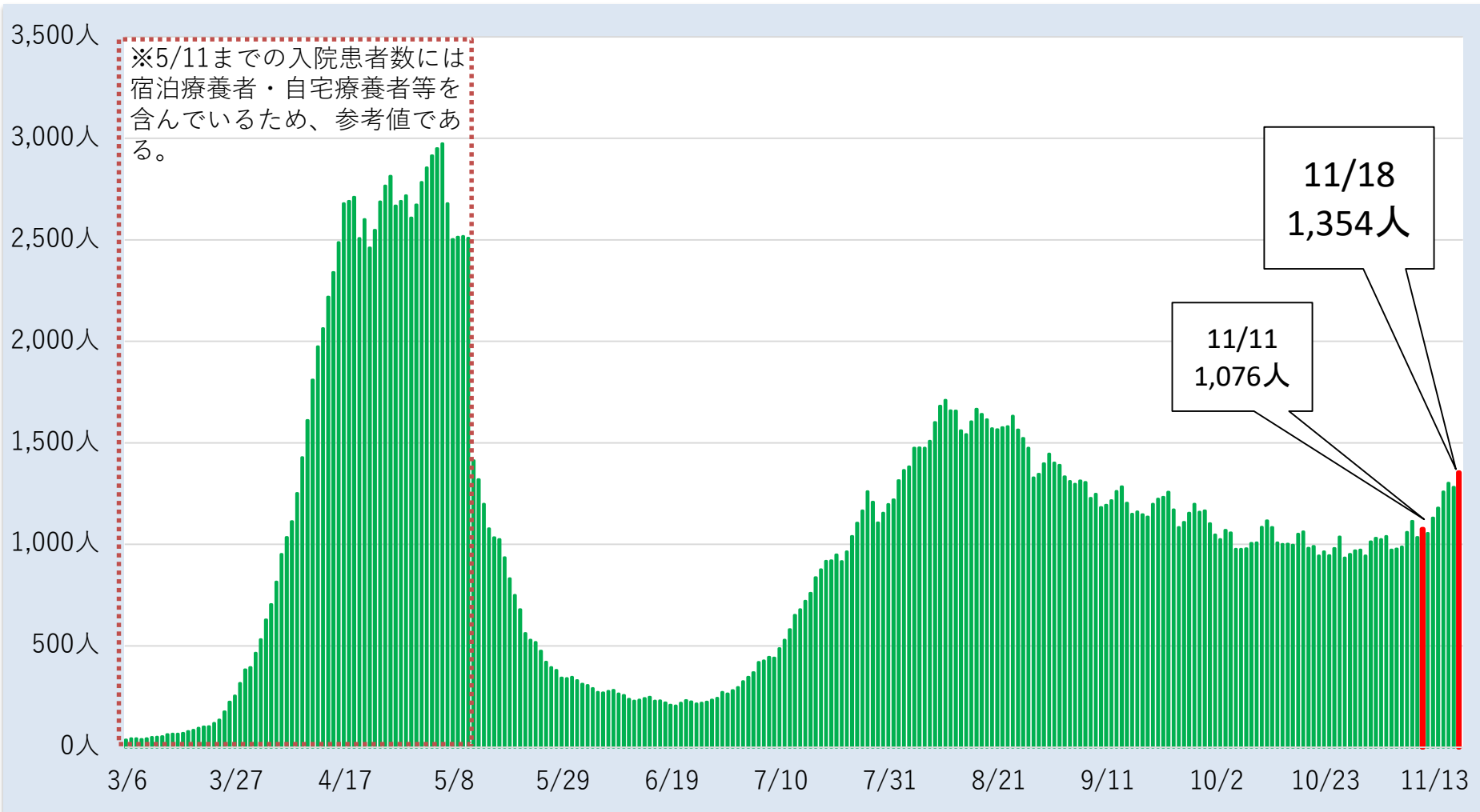
➤ 東京ルールの適用件数の7日間平均の件数は増加傾向にあり、今後の推移を注視する必要がある。



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

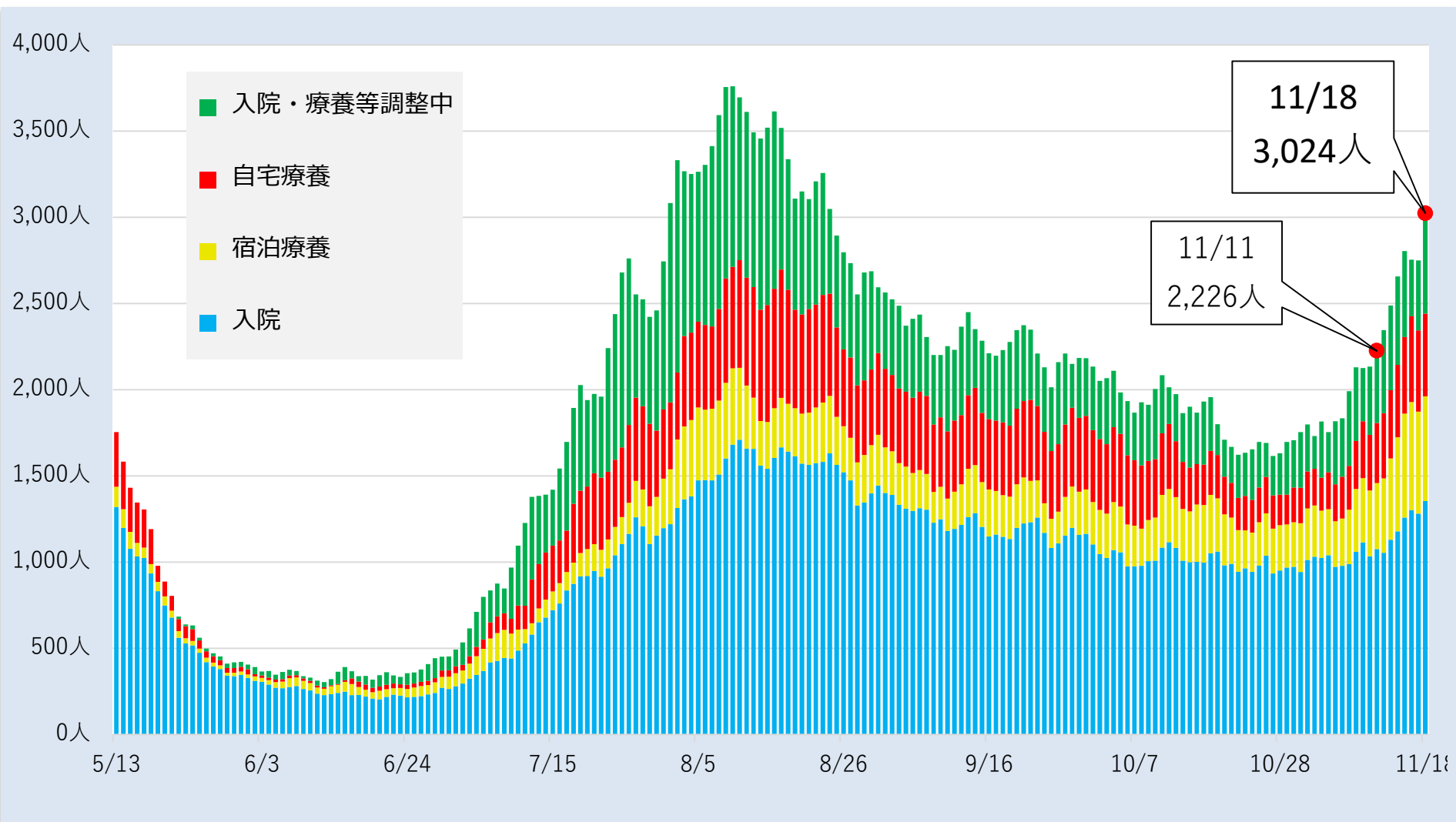
## 【医療提供体制】⑥-1 入院患者数

- 入院患者数は1,300人を超える水準まで大幅に増加しており、入院が必要な患者の更なる増加にも対応できる病床の確保が急務である。



(注) 当サイトにおいて入院患者数の公表を開始した3月6日から作成

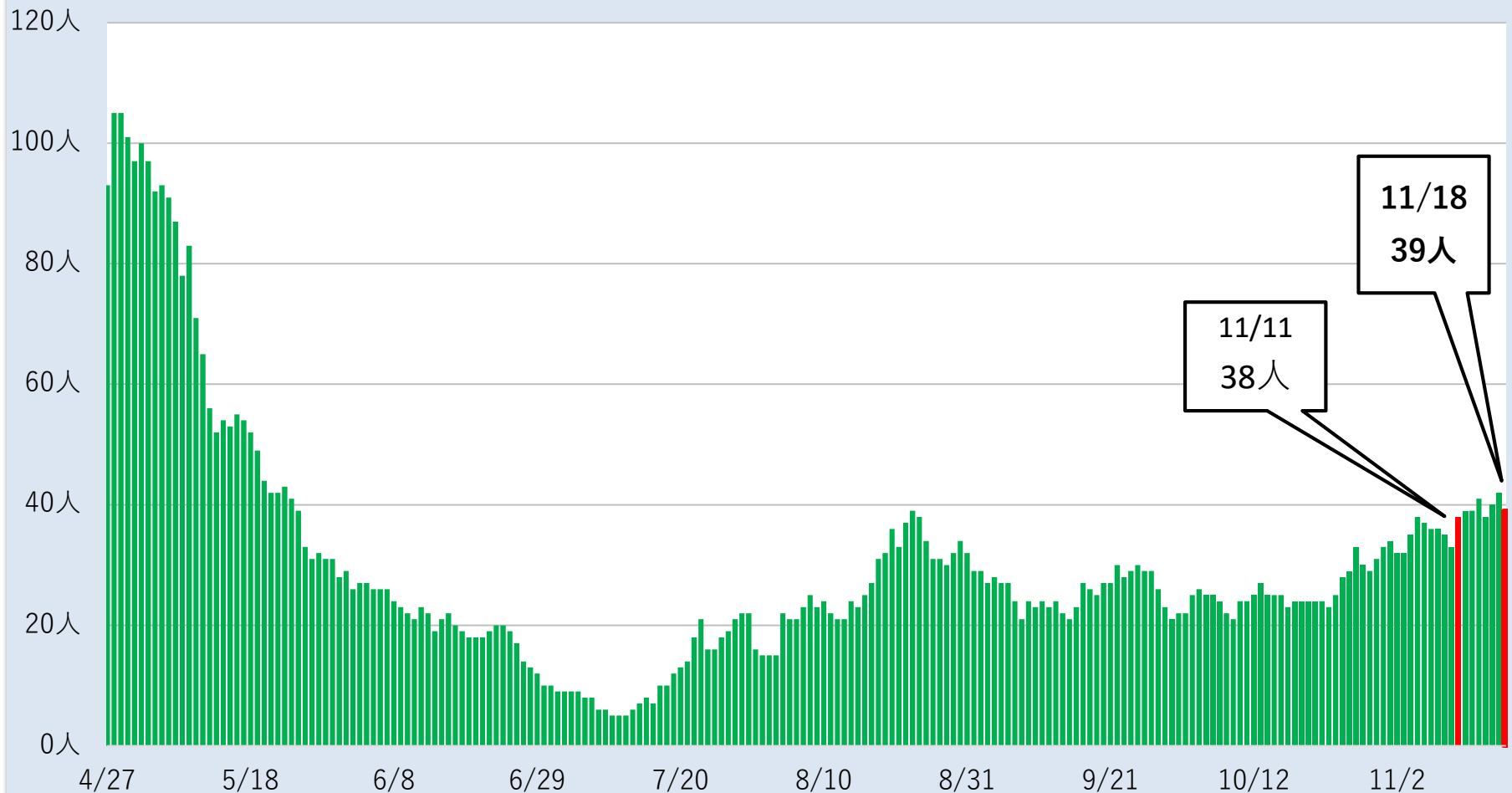
## 【医療提供体制】 ⑥-2 検査陽性者の療養状況（公表日の状況）





## 【医療提供体制】 ⑦-1 重症患者数

- 今後の重症患者数の増加に備えた病床確保が急務である。重症患者数の増加が続けば、予定手術等の制限をせざるを得なくなり、通常医療の維持と重症患者のための病床の確保との両立が困難になる。



（注）入院患者数のうち、人工呼吸器管理（ECMOを含む）が必要な患者数を計上  
上記の考え方で重症患者数の計上を開始した4月27日から作成

## 【医療提供体制】 ⑦-2 重症患者数（年代別）

